

令和8年6月16日19時46分頃の茨城県南部の地震について

令和8年6月16日19時46分頃に発生した茨城県南部を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先

地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

震度5弱を観測

震度5弱 群馬県 埼玉県

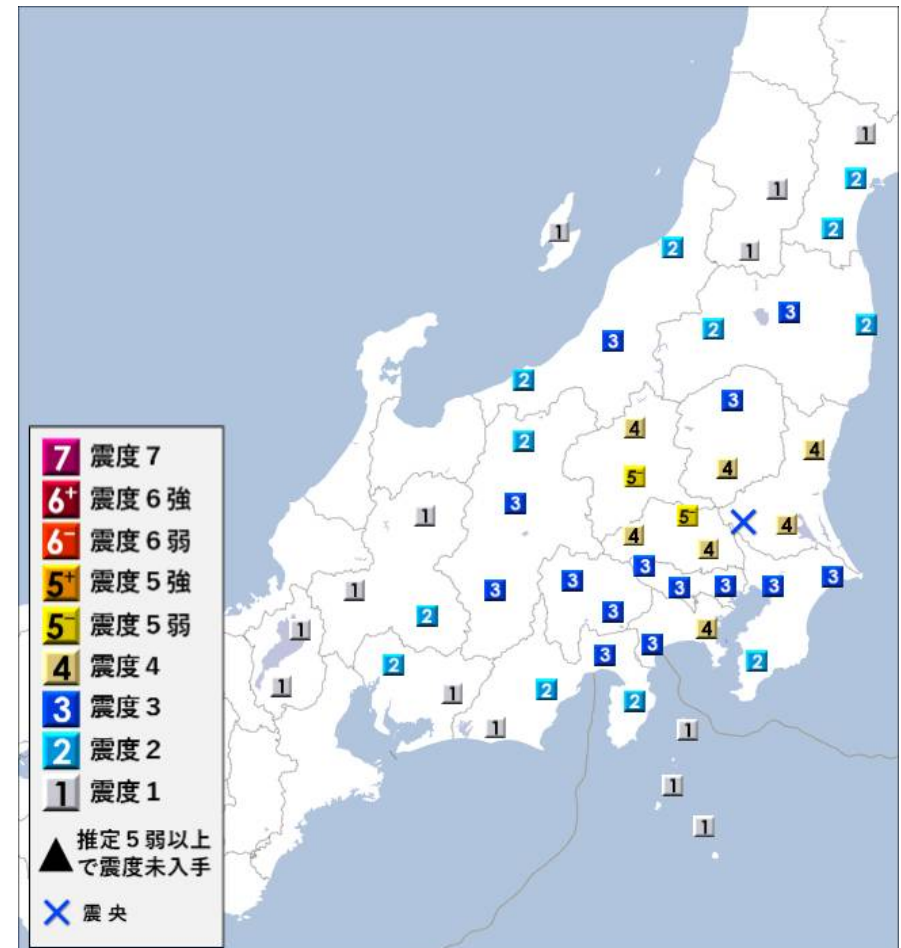
(揺れの強かった地域)

落石や崖崩れなどに注意

※1週間程度(特に今後2~3日の間)

最大震度5弱程度の地震に注意

6月16日19時50分発表



地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	6月16日19時46分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	6月16日19時46分
マグニチュード	5.5(暫定値)
発生場所	茨城県南部 深さ50km(暫定値)
発震機構	北北西—南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震(速報)
震度	【最大震度5弱】群馬県の太田市(おおたし)・千代田町(ちよだまち)、埼玉県の加須市(かぞし)・本庄市(ほんじょうし)・美里町(みさとまち)の合計5つの市町で震度5弱を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度4~1を観測
地震活動の状況 16日21時10分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が1回発生(震度2:1回)
長周期地震動の観測状況	茨城県南部、群馬県南部、埼玉県北部で長周期地震動階級1を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

(防災上の留意事項)

この地震による津波の心配はありません。

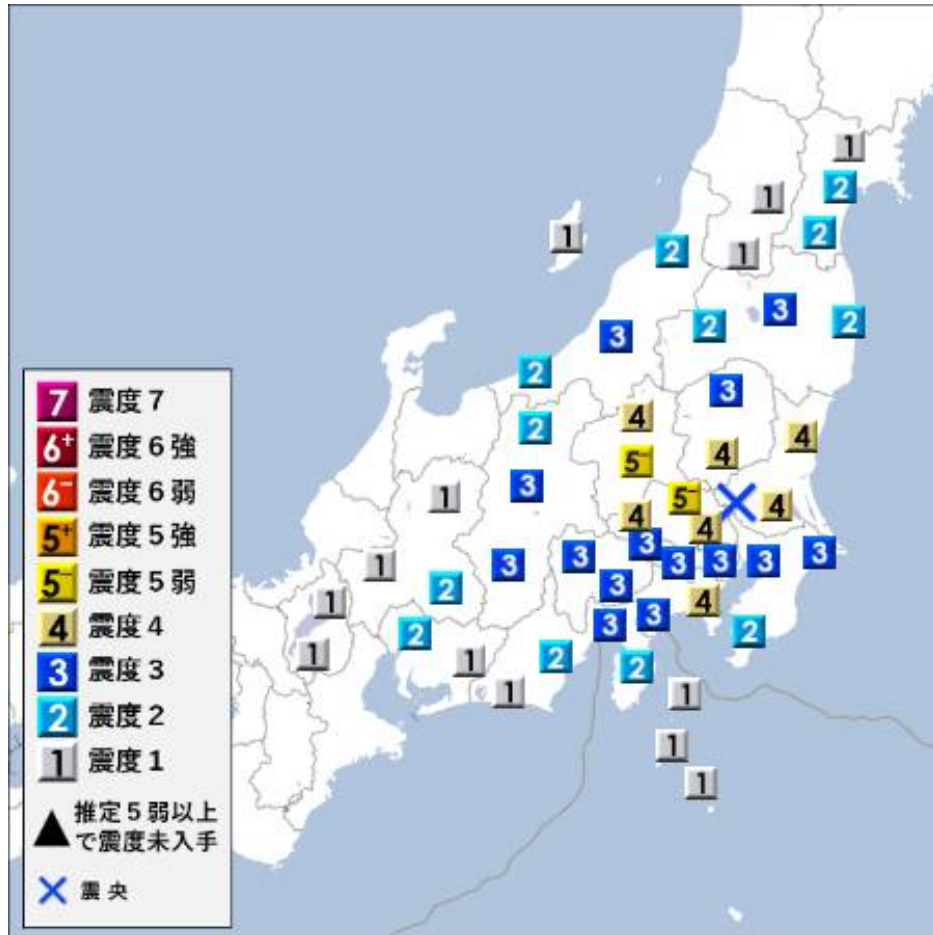
揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起こりやすくなっている可能性がありますので、今後の地震活動に注意してください。

(今後の地震活動の見通し)

過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5弱程度の地震に注意してください。特に今後2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

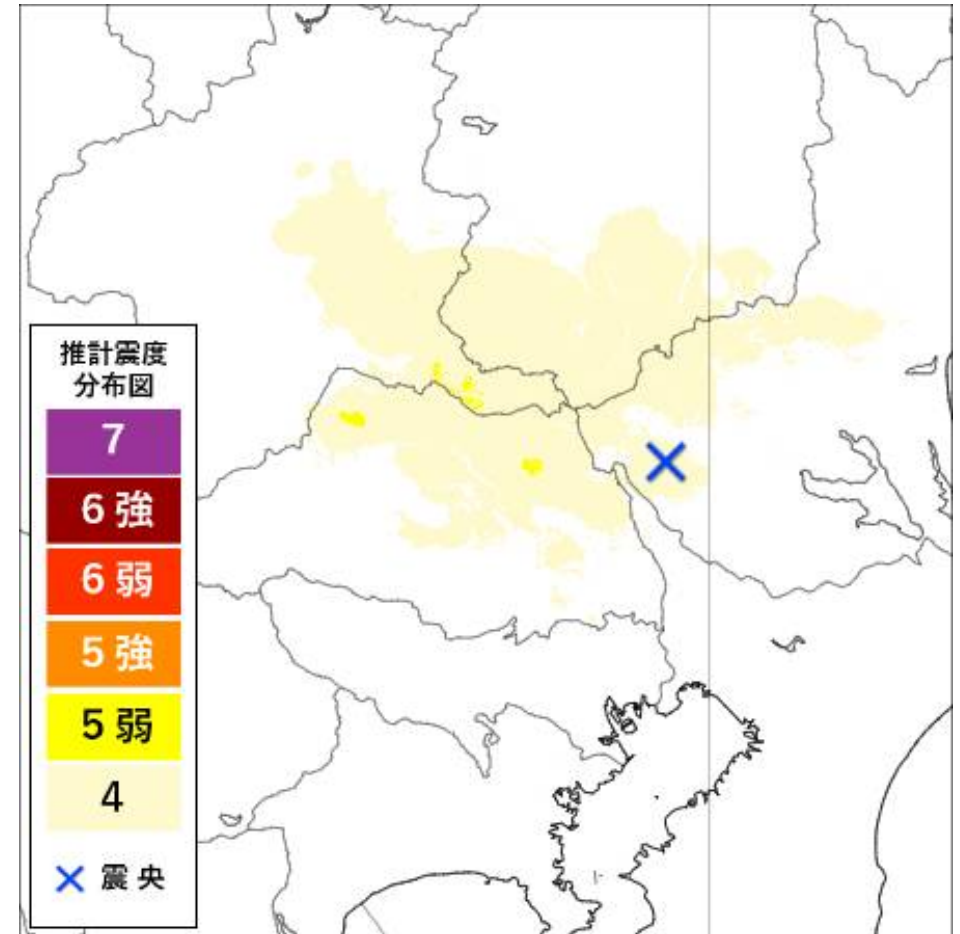
震度分布図・推計震度分布図

【各地域の震度】



6月16日19時50分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

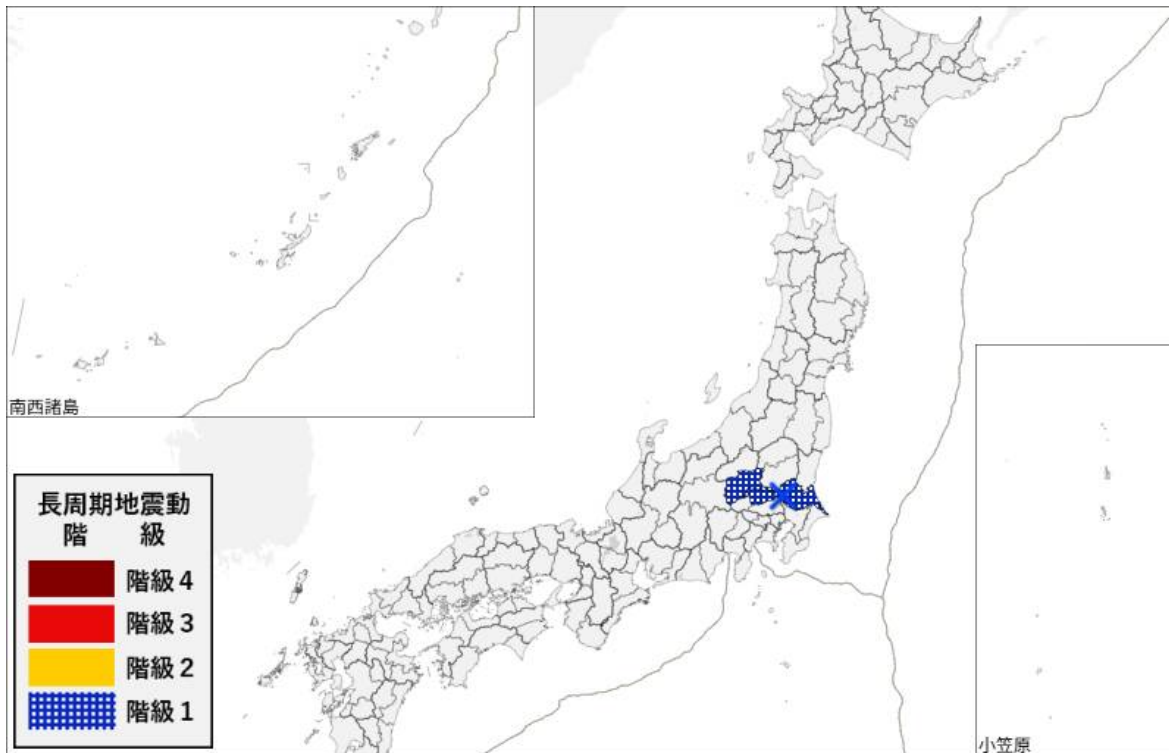
地震情報:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

推計震度分布図:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

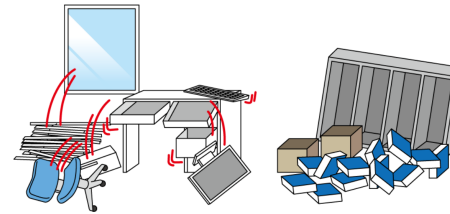
長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称
階級1	茨城県南部 群馬県南部 埼玉県北部

6月16日19時55分発表



階級4



立っていることができない

階級3



立っていることが困難

階級2



物につかまりたいと感じる

階級1



ほとんどの人が揺れを感じる

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

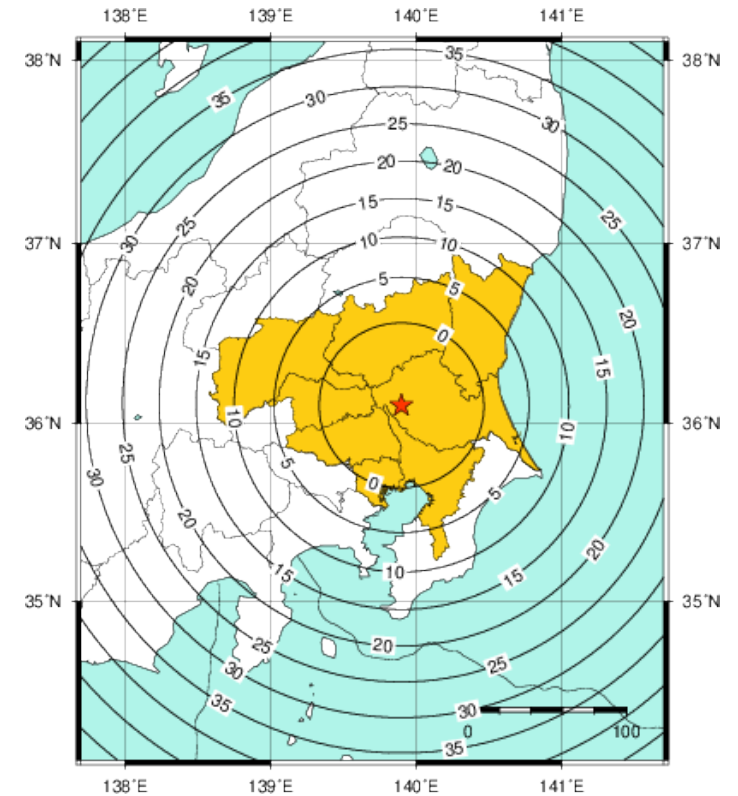
長周期地震動に関する観測情報:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過時間 (秒)	震源要素				予測した 震度と階級	
地震波 検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ		M
第12報	19時46分53.0秒	10.2	茨城県南部	36.1	139.9	50km	5.1	※6
※6		震度5弱程度	埼玉県北部、茨城県南部、埼玉県南部					
		震度4程度	千葉県北西部、東京都23区、栃木県南部、群馬県南部					
		震度3から4程度	茨城県北部					

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



緊急地震速報（警報）を発表した地域 ★ 震源

発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。

緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

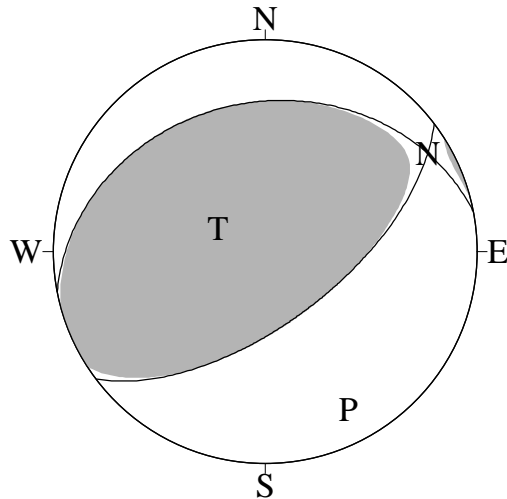
発震機構解

06161946

北北西 - 南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

[CMT解(速報)]

Mw=5.4



下半球等積投影法で描画

P：圧力軸の方向

T：張力軸の方向

セントロイドの位置

北緯 36度4分

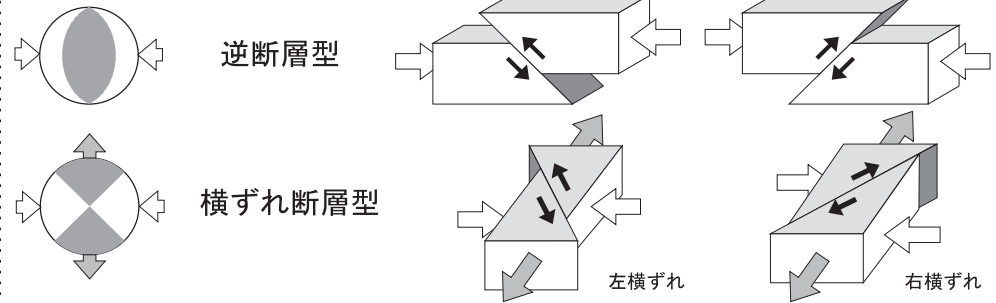
東経 139度52分

深さ 約55km

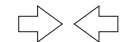
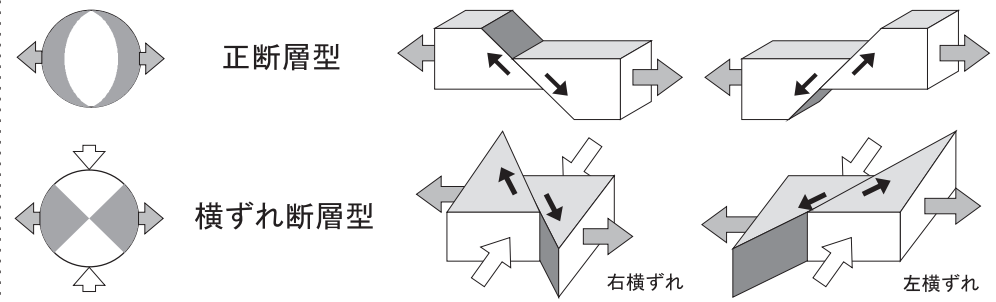
セントロイドの位置とは、地震の断層運動を1点で代表させた場合の位置。

発震機構解 [CMT解] について

圧力軸に注目した場合の例



張力軸に注目した場合の例



圧力 (押す力)



張力 (引く力)



断層がずれる方向

気象庁作成

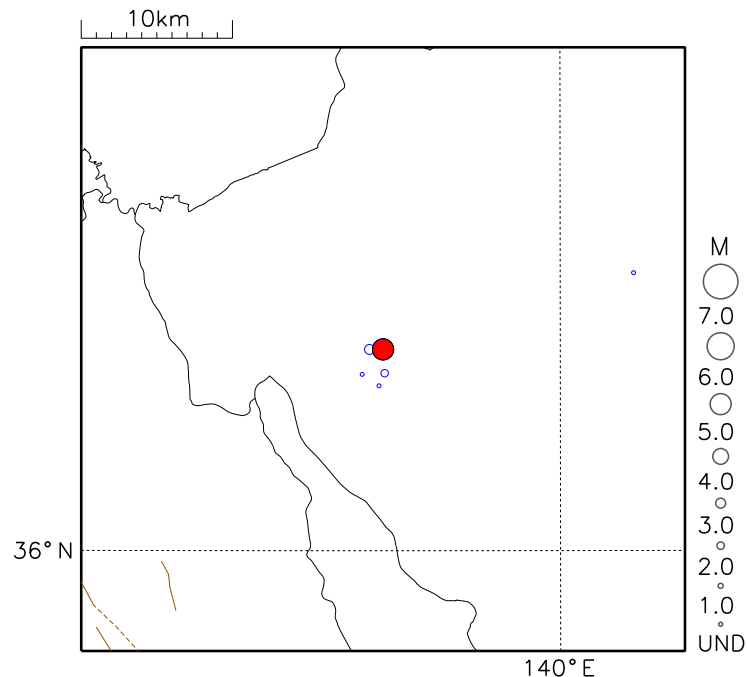
今回の地震活動

震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、 M 全て

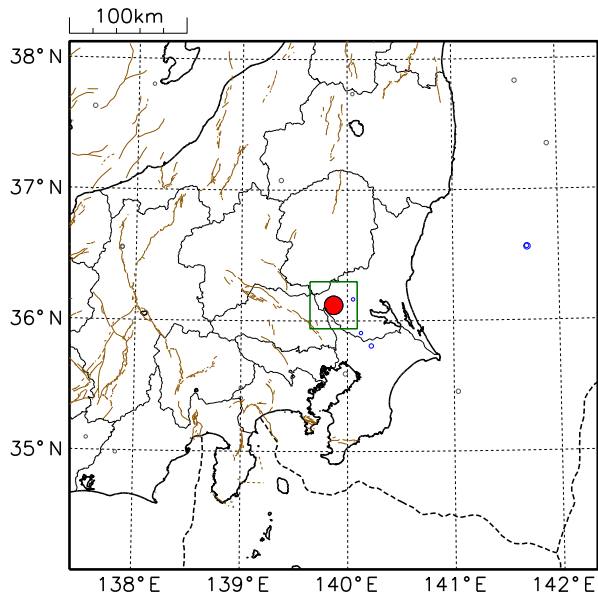
2026 06 16 17:00 -- 2026 06 16 20:40



震央分布図（広域図）

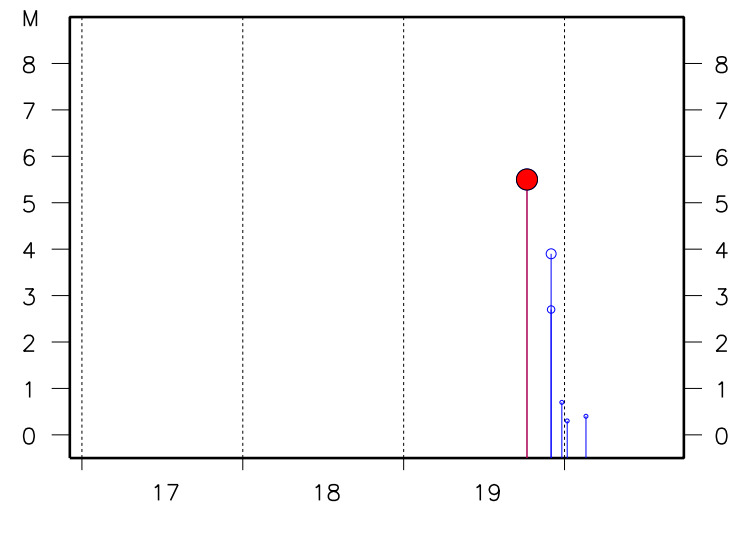
深さ0 -- 100km、 M 全て

2026 06 16 17:00 -- 2026 06 16 20:40



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2026 06 16 17:00 -- 2026 06 16 20:40



(震源の色について)赤色：今回の地震 青色：今回の地震より後に発生した地震 灰色：今回の地震より前に発生した地震

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

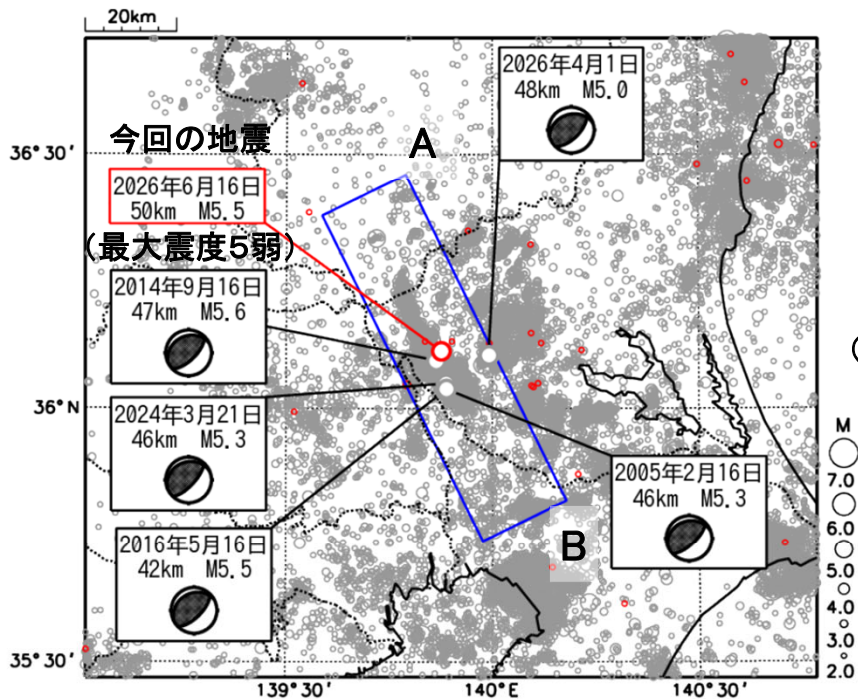
<資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

令和8年6月16日 茨城県南部の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

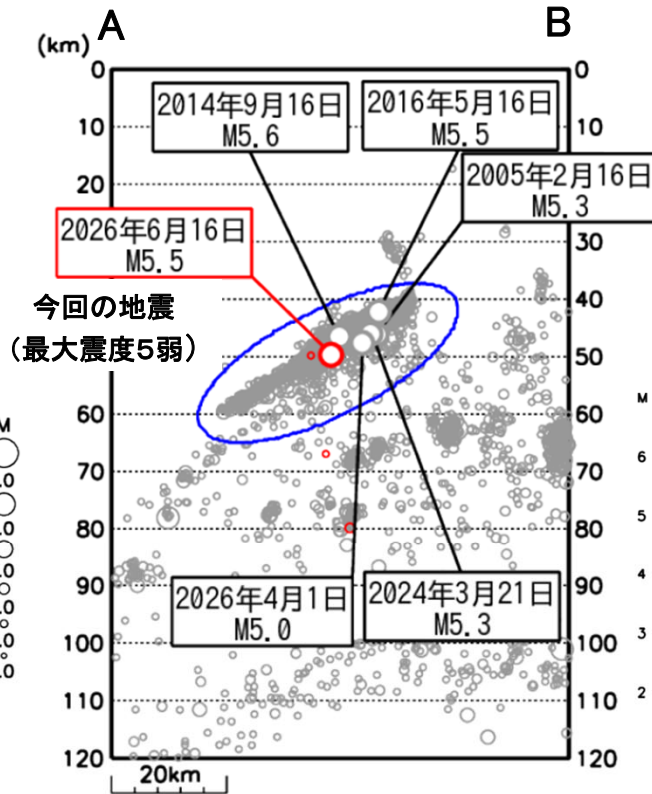
(1997年10月1日～2026年6月16日19時47分、
深さ0～120km、M2.0以上)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

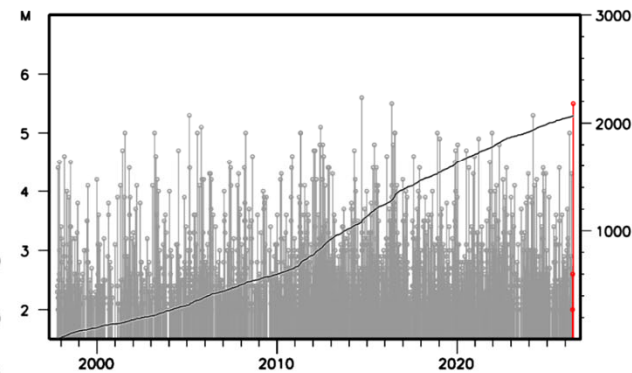
2026年6月1日以降の地震を赤色で表示

左図の四角形領域内のA-B断面図



縦軸は深さを表し、丸の大きさは
マグニチュードの大きさを表す。

左図の楕円領域内の地震活動経過 および回数積算図



横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、
右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を
足し上げたものであり、縦棒のついた丸は
地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

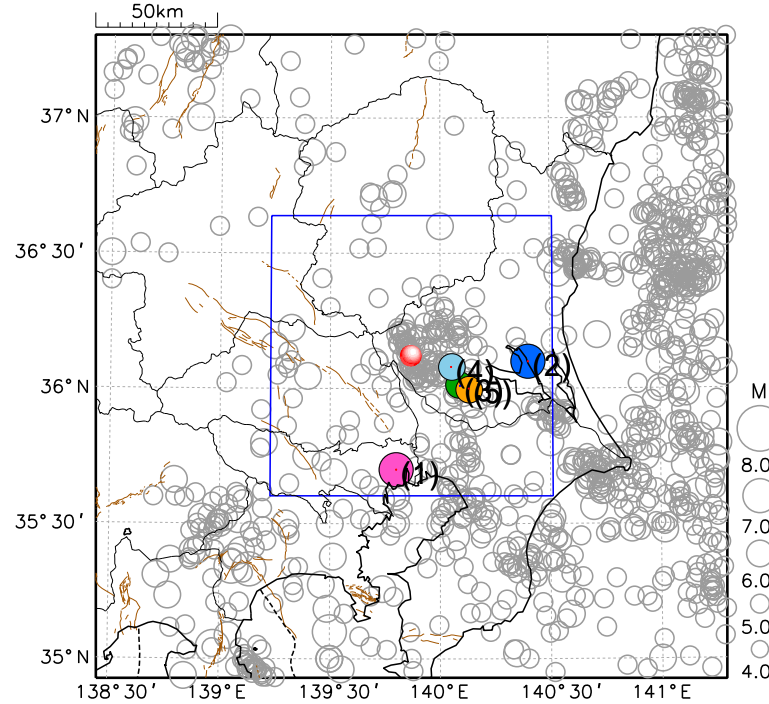
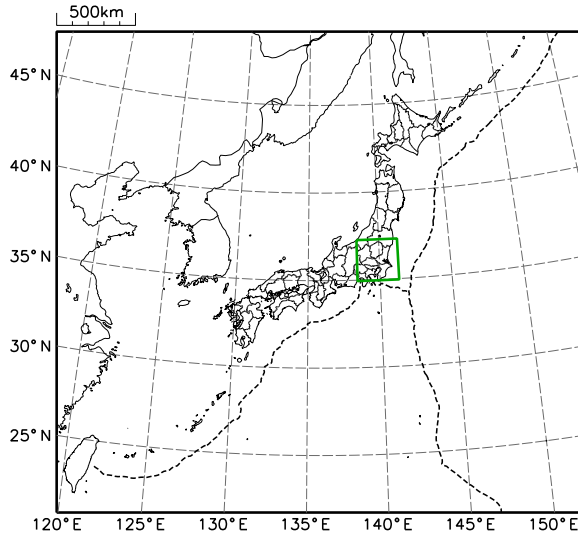
今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

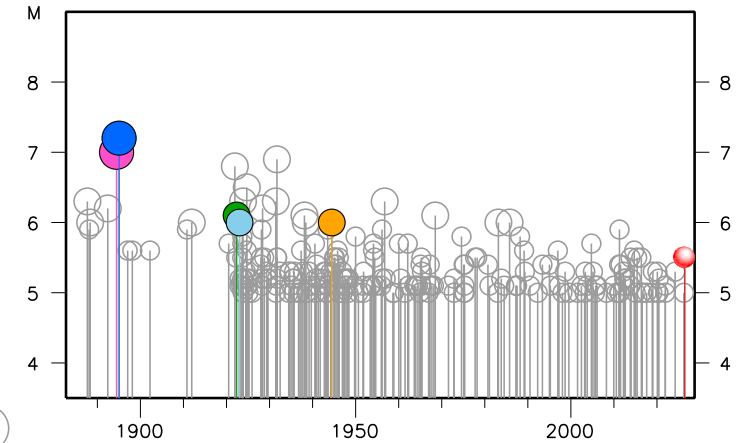
M 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km

今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2026 06 16 19:51



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃 : (1), 青 : (2), 緑 : (3), 水 : (4), 黄 : (5)

(1) 1894年06月20日 M:7.0 東京都23区
(明治)東京地震

(2) 1895年01月18日 M:7.2 茨城県南部

(3) 1922年05月09日 M:6.1 茨城県南部

(4) 1923年01月14日 M:6.0 茨城県南部

(5) 1944年06月16日 M:6.0 茨城県南部

・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。

・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。

<地震の名称について>

・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。

・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。

・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。

・名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

<資料の利用上の注意点>

・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。

・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。

・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（ ）が異なる場合がある。

検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。

この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。

一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

発表した情報などについて

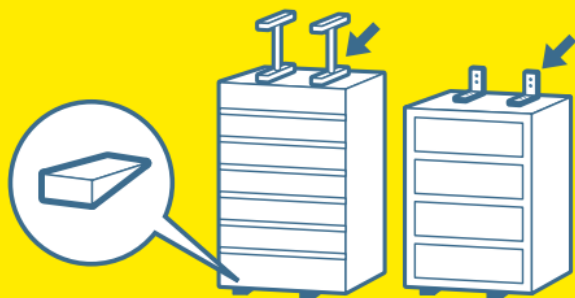
- 津波警報等の発表状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>
- 津波の観測状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>
- 潮位観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>
- 地震情報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>
- 緊急地震速報の発表状況
https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>
- 震央分布
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>
- 地震から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報X(旧Twitter)
https://x.com/JMA_bousai



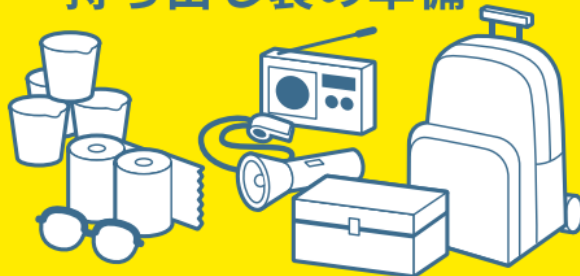
日頃からの地震への備え

日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありませんので、日頃からの地震への備えを心がけてください。

□ 家具の固定



□ 非常用 持ち出し袋の準備



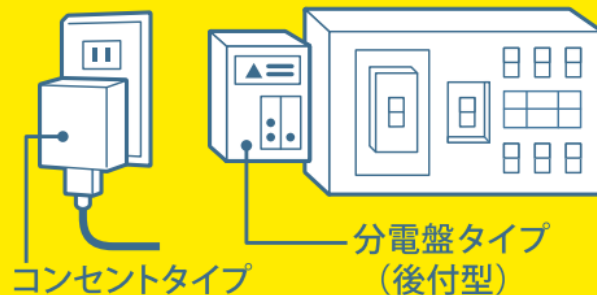
□ 水や食料の備蓄



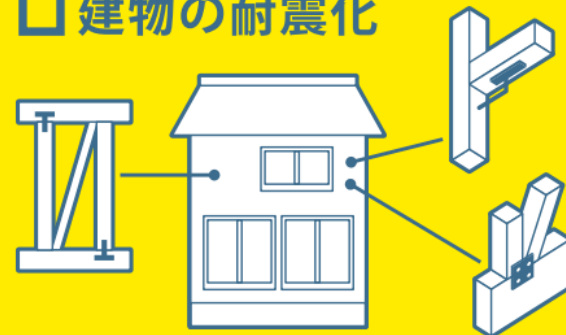
□ 避難場所や 避難経路の確認



□ 感震ブレーカーの設置



□ 建物の耐震化



日頃からの備えについては、以下のページでもご確認いただけます。

地震から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/jishin_bosai/index.html

津波から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html